

9月の「どんぐりsカフェ」

「自分だけの万華鏡」作りに熱中

9月6日の「どんぐりsカフェ」は、「自分だけの万華鏡を作って楽しもう」と題し、「グループふじとう」で、子ども工作教室を開催しました。会場には小学生18人、保護者11人の計39人が参加し、それぞれ個性豊かな万華鏡作りに熱中しました＝写真。

万華鏡はよく知れ渡った「おもちゃ」の一つですが、今回中味が自由に入れ替えが出来、自分なりの工夫が楽しめる万華鏡作りに挑戦。最初に中にいれるのは「一つだけで」と口酸っぱく伝達しておいたが、キラキラしたビーズや色紙に惑わされ、万華鏡のもととなるタンク(容器)の中いっぱい詰め込み、つつを回しても材料が動かない子供がチラホラ。つつの中身を少なくしてくるくる回すと、やっと色紙などが華麗に変化する万華鏡らしさとなった。

材料の中に「せみ」の抜け殻が3匹分たまたまあり、これがまた、万華鏡を通して見ると、それなりの(表現しづらい)面白さを醸し出していた。今回のポイントとして「想像する楽しさ」を前面にだしており立体物を万華鏡に通すことにより「どんな形に変化するのか？」この想像する楽しみを少しは味わって頂けたかと思えます。持ち帰った万華鏡を、たまには引っ張り出して、この想像する容器を今後も楽しんで頂ければ主催者側としては幸せです。

その後恒例となった「コマ回し大会」を実施、白地のコマ(材料ケヤキ)に、カラーペン、マジックなどで着色し、「自分コマ」とする。(その際コマを回転させてその状態で色付けするなどブロ顔負けの色付けを行う子供もいて、ビックリであった。その後、学年単位でコマ回し大会を実行、「わいわい、ガヤガヤ」楽しいひと時を



過ごした。勢い余ってスタートの合図で失速したり箱の中からコマが転落などハプニングの続出であったが大いに楽しんで、頂けたものと思います。(加藤 善夫)

住まい困りごと無料相談

- 電話または直接面接会場にお越しください
☎080-5297-8956 (長谷川)
- 面接相談会日・会場
10月12日(日) グループふじとう
11月23日(日) グループふじとう
(いずれも13:30~15:30)
- ・当会会員の一級建築士が相談に応じます。

くらし相談 ハート・ほっと・ルーム

- 開催日・会場
10月26日(日) 養楽福祉会たかもり
11月23日(日) 養楽福祉会たかもり
＝春日井市高森台5-6-6
(いずれも13:30~17:00)

参加費；無料

連絡先；☎090-6330-4393 (浪川)

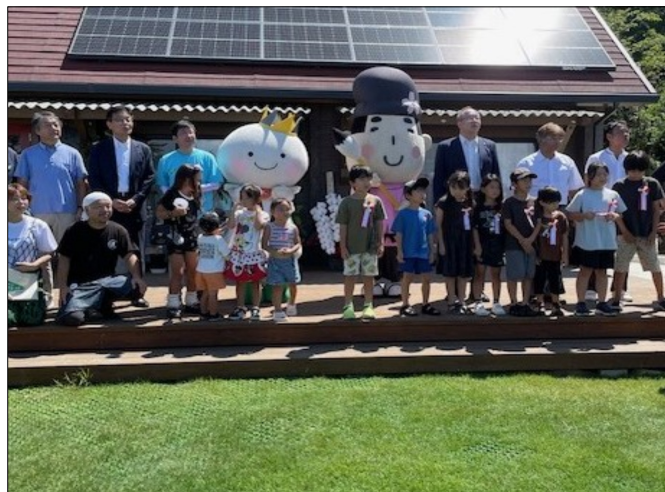
- ・暮らしや心の悩みを語り合しましょう
- ・個別相談：別途予約で受付ます

バーベキューもできる高森山隣接公園 「フルット」が開園

高森山の北西部に物流会社・ホンダロジコム(株)が、造設した公園「Frutto(フルット)」の開園式が7月26日、石黒春日井市長を初め周辺住民ら約500人が参加して開かれた=写真。

同社は春日井市進出以来30年の社会貢献記念事業として、市民の憩いの場となり、歩いて利用できる公園を造設。バーベキュー施設や芝生広場、集会室などとともに、環境に配慮し周囲に各種果物の木などを植え、魅力豊かな公園となっている。

「どんぐりs」は、同社が高森台地区に物流センターを設置以来、イベント等で協力関係にある。開園式では、芝生広場にブースを設けワークショップ(ストラップづくり)を行った。石黒市長や多くの家族連れがストラップ作りに参



加し楽しんでいた。今後、同公園は「どんぐりs」のイベント等で積極的に使用させていただく予定である。(堀内 泰)

高森山周辺の改修工事に着手

高森山周辺の改修工事が現在、「どんぐりs」と春日井市のニュータウン創生課、公園緑地課と連絡を密にして進められています。総工費3億円で、9月中旬には2カ所のトイレやテニスコート設備は全て解体撤去されています。仮設トイレは北側駐車場上段に男女別に設置されました。グラウンド西側のトイレ工事にともない樹木の伐採をしましたが、準絶滅危惧種のフモトミズナラは確実に残しています。

ササユリの谷に唯一あった水場に雨水を供給する地下貯溜設備工事は既に始まっていますが、重機や土砂の影響を受ける希少種スズカカンアオイ、ショウジョウバカマは下流部へ会員の手により移植しました。また、山下テニスコート拡張にともない山麓の一部が施設にかかる為スズカカンアオイを山の東側斜面に移植しました。

今後の予定としてはグラウンド西端に高森山整備用具の保管用物置、山頂南側にウッドデッキ1基(当初2基計画)、北口から山頂までの遊歩道の階段改修、希少植物地域のロープの設置等が進められます。

同時に遊歩道沿いの危険木の伐採も行いますので、目印テープで示すなど当会としても協力しています。公園利用の皆様にはご不便をおかけしますが令和8年3月の完成を楽しみにしててください。(山口 正恵)

私の朝・昼・晩

「菜園都市」という住み方

すまい相談を始めてから手ごたえのある相談がありました。来訪された若いご夫婦は最近高森台に引っ越しされてきたのですが、購入した中古の家屋(平屋)に多くの問題があり、大変困って相談に来られました。屋根の修理や床の沈下、外部排水管など何度かの相談を経て、おおむね決着がついたので、ニュータウン(NT)に移住された理由を聞いたところ、まず「人生フルーツ」のTV番組を見てそんな生活にあこがれ、NTを選んだとのことと、加えて、今回のように色々と親切に相談に乗ってもらえることだ、とおっしゃっていただきました。

これは相談活動冥利に尽きるありがたい言葉でした。もう一つはご夫婦の土地が100坪で、そこで菜園を楽しみながら生活したいとのこと。私が前から言っている「菜園都市」という名にピッタリの住み方であり、これからのNTの売りのひとつは、100坪の土地を細かく切り売りすることだけでなく、大きな土地に小さな棲家と菜園がセットになった「菜園都市」づくりだと考えています。(長谷川 光男)